

米国・南メソジスト監督教会の宣教師、ウォルター・ラッセル・ランバスが、兵庫県芦原郡原田村（当時）に関西学院を設立したのは明治二十二年（一八八九）九月二十八日。ちょうど百年前である。創立百周年を記念して行事が組まれているが、十一月四日には、創立百周年記念式典が予定されている。

百周年に当たる今年、新たに関西学院長に就任された宮田満雄氏に、百周年を迎えるに際しての抱負をお伺いした。

関西学院が、神戸市灘区の原田の森に設立されて今で百周年を迎えることになります。今年は神戸市制も百年。一口に百年と言いますが、これは大変に長い道程だったと思います。

私事になりますが、私の父は、明治三十一年に当時の普通学部に入り、また、私自身も昭和二十七年に高等部を出て大学に入りました。

現在関西学院の表向きの顔は、学生を一番多く抱えている大学にならざるを得ないと思います。しかし正確には、普通学部つまり現在の中等部と神学部が百年を迎

だと言うことになります。

関西学院の設立当時、英文の規約がありました。それは、コンステイチューション、つまり憲法、「関西学院憲法」ですね。その中に、普通学部（アカデミック・デパートメント）と神学部（ビブリカル・デパートメント）、この両者は、ともに優劣なしと明記されていました。

関西学院にとって一つの大きな節目だったのは、原田の森から現在の西宮市上ヶ原に移ったことです。その昭和四年当時、原田の森も今から比べれば、まだ開けてなかつたでしようが、ここ上ヶ原は、その頃の写真を見ると、要するに一面の烟。大変な決断でもって移転したと思います。

あの当時は、教授にも学生にも大学昇格への悲願があつたようで、移転の三年後に大学令により、大学の設置が認可されました。いすれにせよ上ヶ原への移転が、関西学院の発展する一つのきっかけとなりました。

しかしながら戦争中は非常に大変だったようです。一つのエピソードですが、戦争中に図書館の正面に掲げていた石のエンブレムを取り壊したんです。多分、当局からの圧力があったんだと思います。ところが、壊さ



関西学院創立100周年記念

## ■INTERVIEW

# 宮田満雄関西学院長に聞く キリスト教主義による国際人の養成

れたエンブレムの断片を、一学生が郷里の鳥取の家まで、リュックサックに背負って持つて帰っていたんです。この六月九日から十四日まで、阪急百貨店梅田店で、百年を回顧する「オール関西学院グラフィティ」が開催されましたが、そこでこの断片が展示されました。

戦争中は当局側の教育機関に対する締めつけと言いますか、監督が厳しく、その当時の関西学院の責任者の方々には非常なご苦労があつたと思います。よく関西学院が、あの時代を持ちこたえ、今日まで来たことを思うと感慨深いものがあります。

ところで関西学院が、この百年の間に訴えてきたことは、キリスト教の主義によって、日本の青年を教育することです。それが今日まで、ずっと一本貫かれて来たところに意義があるのではないかと思います。

だから、いつの時代の卒業生でも、在学中に勉強したこととは、必ずしも全部覚えていないけれど（笑）、キリスト教に基づいて、学生にアピールした部分は、割に卒業してからも覚えておられる。これは二世紀目ににおいても、関西学院が変わらず訴えつけなければいけない部分だと思います。

さて、今後の問題としては、原田の森から上ヶ原へ移つて飛躍したように、現状からさらに飛躍するためにはどうしたらしいかという大きな課題があります。

このたび理事長、院長、学長が、すべて新しく就任いたしましたから、この新体制が、どうやって実効を發揮するようになるのか、期待も大きいと思います。

とともに関西学院は、米国の宣教師によって建てられ、その後、どう国際的な人材を育成して行くか。これまでの伝統があるだけに、大きな課題になつて来ると思います。学的には、大学の将来計画もあり、また、『英語の関学』の伝統を受け継ぐために、宣教師だけではなく、

外国人教師の増員も考えられています。この九月には、高等部の新学舎も完成します。

現在、関西学院の同窓会の会員は十三万人。各地に支部があり、熱心に同窓会活動をやつていただけています。

とくに神戸は、何と言つても関西学院発祥の地ですから、神戸支部の皆さんとの間には、同窓会の『宝』だと言ふような意識をお持ちになり、支部の伝統を守つて来ておられるむきもあるのではないかと思います。

私自身は京城（現ソウル）生まれですが、母方の家族はずっと神戸で、祖母は神戸女学院の一回生なんです。ですから私も神戸には深い愛着を持つています。

今は西宮に移りましたが、関西学院の発祥の地は神戸だと言う思いが、神戸支部の皆さんには、ひとしお強いのではないでしようか。それだけに今後とも、活発な同窓会活動が神戸で行われることを期待しています。最後になりますが、今後も同窓会の皆さんには、色々とご協力を願いしたりすると思いますが、お願いするばかりではなく、母校が関西学院であることを嬉しく思ひ、誇りに思えるような学校にするために、学内にいる者の責任を果して行きたいと考えております。

（院長室にて）

#### ■関西学院創立一〇〇周年記念事業

##### 関西学院アートフェスティバル作品コンテスト案内

- (1) テーマ／「関西学院」
- (2) ジャンル／絵画（油絵、水彩画、スケッチなど）、版画、写真、工作（彫刻は除く）、未発表作品に限る。
- (3) サイズ／20号（72・7×60・6cm）位まで。
- (4) 制作日程／9月11日（月）～25日（月）午前9時～午後4時 於関西学院キャンパス（制作室内は不可）。休日も可。
- (5) 参加資格／なし。
- (6) 参加方法／学院正門受付で応募票を提示。（その場でも入手可）
- (7) 作品提出期間／10月12日（木）～15日（日）午前10時～午後3時（郵送の場合15日必着）。
- (8) 提出場所／関西学院宗教センター。
- (9) 審査委員長／石阪春生。
- (10) 発表／10月25日頃に直接通知。特選10点、入選30点。
- (11) 表彰／11月4日（土）午後1時30分から宗教センターべーツホールラウンジにて。展覧は11日（土）まで。

## 国際観光都市神戸

# 「神戸の特徴を生かした 新しい観光文化都市の創造を」

### □座談会出席者

△敬称略・アイウエオ順▽

泉 寿夫 (JTB三宮支店長)

奥田真弘 (天恵工業月光園社長)

嶋田勝次 (神戸大学工学部教授)

中内 力 (神戸ポートピアホテル社長)

室田民雄 (神戸国際観光協会専務理事)

港町神戸が、国際観光都市として変貌をしつつある今。神戸の良さを、我々市民もよく知ったうえで、観光客を迎えることのできる環境を整備する必要がある今日は、神戸観光に繋りが深い5人の方々に、いろいろな角度から、国際観光都市神戸のあり方について語っていただいた。

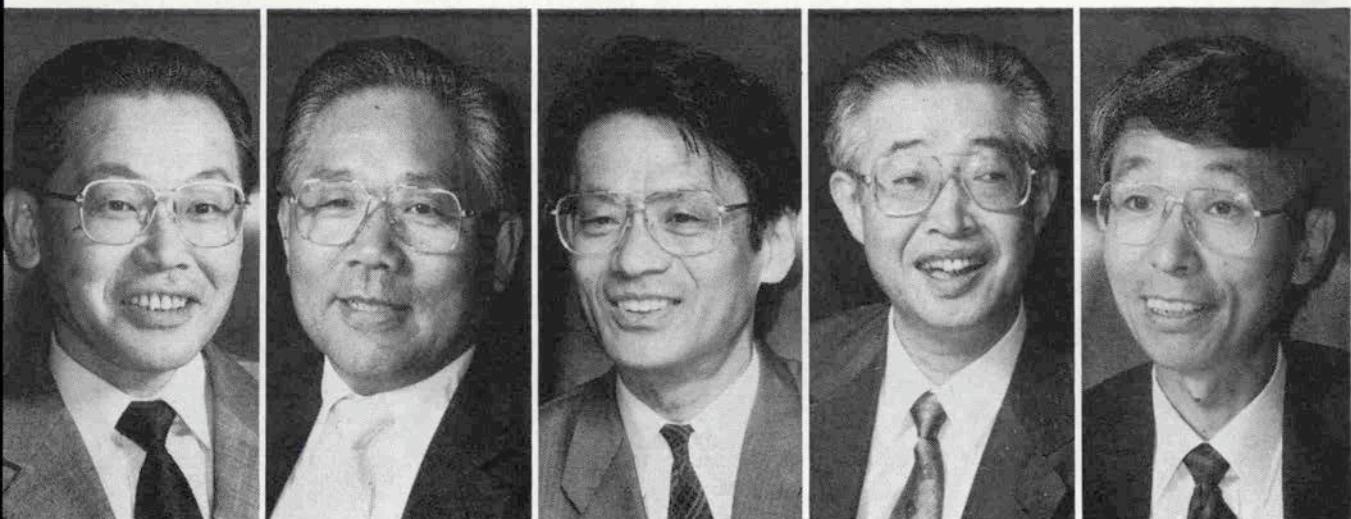
★他都市にない、神戸独自の観光ファクターは何か

室田 神戸は何と言つても自然に恵まれています。海、山、坂があつて、地形が良くて明るい。また、明治の開港以来、外国との窓口になって、多くの西洋文化を受け入れ、市民もそれを十分に消化し、共に暮して來た。こういう地形的な利点と市民性の両面から、観光都市として成り立つファクターがあつたのではないかと思ひます。

中内 このまえ長野県の松本へ行きましたら、神戸のこ

嶋田 神戸といったら、海があつて山がある、他の都市には、そこではないかと。で、これだけは、作られないから、そういう意味で、神戸は強いんではないかなど。それと、神戸つ子は、物にこだわらないところが、いいんじやないかなど。魅力だと思ひますよね。知られてないだけで…だから、観光客が、来て良かったなあと思つてくれるのは、まず海と山と人柄だと思つてますね…。

奥田 神戸の観光がこれ程盛り上がつたという現象が、ポートピア81のときになりましたね。行政の方もポートピア81のあと、「一兆円」というような経済効果がわかつてから、これは力を入れなくてはいけないということになりましたね。いろいろな大都市を見てきたが、神戸は海があり、山があり、町があり、温泉があるという、これだけの条件を持つた政令都市はまずないだろうというのがまずひとつ。'81の危機感で民間も行政もキヤンペーンをして落ち込みを防いだ。官も民も一体となつて動いているという活力ね。それに神戸には夢があるということが、次々と夢を作つては実現している。トータルな神戸の魅力というのは、ハード面とソフト面の整備が着々と進んでいるということで、他の都市ではなく、うらやましがられている。その積極性の積みかさねが今日の成果になつているように思ひます。



室田 民雄さん

中内 力さん

鳩田 勝次さん

奥田 真弘さん

泉 寿夫さん

とはよく知っている。ポートピアホテルの名まえも、全員知つていて、心強く思いました。ところが、行つたこのある人は10人中1人だけで、9人は訪れていない。イメージが先行して行動に結びついていない。ここが問題点ですが、また大きな可能性とも言える。

泉 神戸はイベントに成功した町だと思いますね。ポートピア博であり、ユニバーシアードであり、また、神戸まつりなどですね。それと近年、ハード面も充実している。一番充実したのは、ホテルではないかと思うのですが、それ以外に海洋博物館とかワイン城などをつくって来られた。

世の流れとして、都市観光が増えて来てています。たとえばニューヨークやパリ、こういった都市に観光客が集まる流れが最近ありますね。勿論リゾートもありますが、都市型観光の波に乗つて来たと言うことですね。

それは、"見て、食べて、遊ぶ"ということで、この世界的な流れに、神戸もうまく乗つて來たと思います。

中内 観光には、観客席と舞台がいるという。観客席としてのホテルは充実しつつある。しかし、舞台が不足している。イベントも増え、ハード面もだいぶ充実している。神戸の観光はある意味で人工的に作られてきたものだと思う。京都とは相当異質な観光都市ですよ。

奥田 今年になりましてから私共の協会は、以前神戸市観光旅館協会だったんですが、神戸市観光ホテル旅館協会になつたんです。これは同じ宿泊産業じゃないかということで、オール神戸という立場から垣根をとりはらつた。とにかく、たくさんのお客さんが神戸に来られてよかつたと喜んで帰つていかれる。女性が圧倒的に多いです：（笑）。

中内 ホテルと旅館が垣根をとりはらうというのは、全国でも、おそらく神戸がはじめてでしょう。ホテルと旅館が一体となつてキャンペーンするというのは、画期的なことで、なんでも新しいことに積極的に取り組むという、神戸の特徴ですね。

## ★女性客に人気のショッピングとグルメ。

**奥田** 全くの特色だらうと思いますね。京都での会議で「さすが神戸だ」と驚かれた。ただこれからも他都市でできないでしよう。何故ならオーナー社長がいるホテルが非常に少ないから。これからどうしていくのかとても大切です。商いはシビアでしかも、全体の力としてやつていくことが大切ですよ。

**室田** 私どもの目標は、神戸に観光客がたくさん来ていたい、町が活性化することですから、ホテル・旅館が一体となり、一つの受け皿となつていただくことは心強いですね。

**泉** 先ほど都市型観光といいましたが、やはり、常にモノをつくって行かないといけないです。神戸には歴史的に古い建築物や遺産があまりありませんので、神戸を常に注目させて行くためには、新しい施設をつくるなり、イベントを打つなりして行く必要がありますね。今、レジャーワールドの構想がありますが、これも観光客を外から呼び込む手段になりますね。九月にはフェスピック神戸大会が開かれますが、常にこういうイベントをやつてマスコミや一般の人の注目を浴びていることが大変重要なんですね。そうでないと、いつか忘れられてしまうということになる（笑）。

今は、まさに観光地間競争の時代ですから、常に神戸からイベントや情報を発信して行くことが大切です。

**中内** イベントの時には、人が集まるが、一過性におわる

というものが問題だと思う。その意味では、レジャー・ワールドとか明石架橋、それに淡路島でできるフランス革命二百年記念のシンボルの寄贈というのがある。デザインの寄贈だけだそうでお金は日本で集めるのですが、これらは恒久的な観光資源が、21世紀に向けて建設される。奥田 イベントは実のところこりごり（笑）。一過性に終つてしまふので、終つたあと困るんです。恒久的なものがどうしても必要になつてくる。やはり何か神戸といふものを全国ネットで売るものが必要ですね。もうひと

つは神戸まつりの観光イベントとしての対応が、どうも少ないと思う。京都の祭りのように、神戸まつりも市民局の手を離れて、ちょっと観光の目玉としてやられたらどうか。毎年のことでもあるし、花火大会もしかり。

**嶋田** 僕は神戸ですね、もうちょっと、いい建物を作られへんかなあとと思うわけですよ。一流的建築家に造つていただきたいと…。そう思いますね。それも、神戸へ折角来てんから、あの建物を絶対見なあかんねんと観光客に思われる位の…。以前、運動したんですけれどね…。アメリカの建築家に頼んどったんですけれど…。出来なかつたんですけどね。（笑）

**中内** ポートピアホテルのダ円型というのは、おそらく日本で始めてのものだったであろうと思います。建築物を大切にする必要があると思いますね。

**奥田** オーストラリア・シドニーのオペラハウスなどもそうですよ。

**嶋田** やっぱりオーストラリアのシドニーに行つたら、あのオペラハウスを観ないかんという風に、ね。それよりね、神戸大学の学生はね、神戸に出て来た時、まず、食べもん食べたい、いらうんですよ。それも日本食・洋食・中華と全部食べてみて、やつと神戸へ来たな、と思はうらしいんです。

**中内** ニースへ行つた時、ブイヤベースを食べて、ああ南ヨーロッパに来たんだなアと思ったが、やはり神戸に来たら神戸ビーフと中華料理ですね。それとフランス料理じゃないでしょうか。

**泉** 最近の傾向として主婦を含めて、女性客の使われるお金の量が増えて来ていますね。神戸に観光客が増えているのは、女性を引きつける魅力を持っているということで、それはショッピングであり、グルメということですね。勿論、風見鶏の館をはじめ素晴らしい観光施設もありますが、女性が興味を持つてるのは、ショッピングとグルメ。この層を引きつけていくから、神戸は観光都市として浮上しているのだと思います。

**中内** ファッションタウンができたけれども、ファッショントウンに人が集まらない。最新の神戸ファッショントウンに来て頂くためにも、展示場が必要ですね。即売ができれば、更にいいのですが。

**室田** 十年前の昭和五十四年、神戸の観光客は一五〇〇万人でした。十年後の現在は二二〇〇万人から二三〇〇万人。十年間で一・五倍になっています。

昭和五十六年のポートア博のときは、その年だけで三〇〇〇万人。六十年にユニバーシアード神戸大会をやりましたが、このときには二〇〇〇万人台に乗りました。これを見ますと、大規模なイベントによって観光客が増えたということと、ホテル、旅館、観光施設などの“受け皿”が整備されたということが言えます。

勿論、前提として旅行をしようという、あるいはたとえばグルメツアーリーに参加しようという、参加者の環境というものが、色々な面でよくなつて来たと言うことがあります。ですが、イベントが契機となつたということも言えますね。

それと最近までは、若い女性が多かつたのが、昨年ぐらいたる各層が均等になり、若い人も中年層以上もそれなりに二十パーセント台になつています。しかも団体よりも少人数のグループで来られる人が多くなっていますね。個性的な志向で、何かを見たい、何かを食べたい、ショッピングしたいという自発的な意思で来られる人が増えて来ています。

**奥田** 小グループが来るのにはいい傾向だが、逆になぜ団体客がなぜ来ないのかということになる。とにかく駐車場がない。ハード面でもこの点は大きな問題ですね。団体といつても農協のグループの感覚とは違いますが。泉 今後のことを考えると、一つは大きな団体を受け入れる施設をつくっておかないとダメだと思いますね。と言うのは、国際会議など大きなコンベンションになると二千人、三千人と人を引っ張つて来れます。今度、レジヤーワールドという大きな施設が出来ると、たくさん

人が来ると思いますし、そういう大きな団体をにらんだ戦略を持たないと、大きく飛躍するのは難しいのではないかと思います。コンベンションや企業の周年記念事業などを常に呼び込んで来る戦略を持つことが、どうしても必要になって来ると思います。それが神戸に行つても駐車場がないし、団体で楽しむところもないとなると、今後の可能性は開けて来ないと思いますね。

**中内** 國際コンベンション都市神戸としては、都市間競争の時代でもあり、団体客を受け入れやすい環境が必要になってくる。他都市が後発であるにもかかわらず、神戸以上の施設をもつようになってきている。神戸も競争にうち勝つためにも、駐車場やコンベンション施設の充実に、力を入れなければいけない。コンベンションと観光は裏表の関係である。神戸に行けば、どんなエクスカーションがあるのか、ということを聞かれる。

**奥田** 外国からのお客さんが来たとき、温泉に入るというのは、一つのファクターになるでしょうね。

**中内** たたみの上で一泊するとか温泉に入りたいとかの希望は多いですよ。布団で寝る、たたみの上で食事をする、といった需要が今後ますます増えてくると思います。

**奥田** 一泊の人が多いですね。今の外国の方は殆んど企画招待が多いんです。有馬も含めて、これからは長期滞在型の観光が楽しめるように神戸もしていかなければならぬ。嶋田 神戸を拠点にして、ちょっと、観光巡りをしてもらうと…。

**中内** 統計によると、観光客数は二千二百万人。その内37%が宿泊客ということです。八百万人が神戸に泊つていることになる。ところが一泊が殆んどです。二泊、三泊して楽しめるだけの受け入れ体制がなければ、お客様は帰つてしまわれるんですね。

**★ウォーターフロントがこれから神戸観光の鍵**  
泉 神戸には、夜を楽しめる場所が少ないですね。たと

えばニューヨークに行つたらムーランルージュがありといつたところです。

「行つたらムーランルージュがありといつたところですね。食事のあと、女性客にも楽しんでもらうにはどうす

ね。ればいいか、ということですね。都市型観光には、これがセットされているものです。また文化的な催しをもつともっとやつた方がいいですね。大きなところでは、ザルツブルグやバイロイトの音楽祭などがありますが、そこまで行かなくても、こういったものがセットされれば、都市型観光としては最高ですね。

**中内** 基本的に考えておかなければならぬのは、集中と分散です。機能的に集中させるべきものは集中させ、分散させるべきものは分散させる。このポリシーをはつきり持ってハード面を整備していくなければならないと思います。分散した施設間のアクセスを充実させて、個々に特性をうちだして、全て活性化させるように。

**泉** 集中と分散ということでは、たとえばワシントンでは博物館が集中しています。順番に見て行けるようになっています。観光客にとって、集中がいいに決っていますね。集積すれば、それだけ魅力が増します。

**奥田** ハード面がいくら整備されてもソフト面がやはり大事ですね。特に人が大切。観光関連産業のスペシャリストを養成する学校が、せめて神戸にできないかと思う。大学とまではいかなくとも、短大とか専門学校規模で教育できるものがあればいい。神戸でもこれからそういう人材が必要になりますよ。

**鷗田** それよりね、今年は、パリ200年祭ということで、パリをどういう風に見習うかということですね。200年のため塔をたてるとか、建物を作り替えるとか全部やつてますからね。神戸も、あれをちょっと見習えないかな、と思いますね。古くさい街を、新しくするとか、古いものは、古いなりに、何かせなあかんと思いますね。(笑)。中内 スイスのローザンヌや、ニューヨーク州にあるコネチカット大学のホテル学科などが有名ですが、それくらい世界的なホテル学校ができれば素晴らしい。

**鷗田** これまでの学校みたいに、受験したら入れてや

る、そういうのはやめて、特殊な学校一ぱい創つてもらいたいと思うんですね。

**室田** 大きなものを集中してつくると言うことは、他都市に對して神戸の地位というものを誇示するという意味で非常に大事だし、人も集まると思います。私たちがやっていることに地味な仕事が一つあるんです。分散して観光施設が市内にたくさんあります。寺社など古いものから水族園など新しいものまで色々ありますが、それらが散在しているのは観光客にとって非常に不便です。それで、たとえば西部地区観光施設協議会というのをつくって、ここでお寺や須磨の海づり公園、須磨水公園など須磨区、垂水区、西区という、かなり広域に分散しているのを、うまくネットワーク出来ないかということをやっています。ですから一つは、観光施設の情報ネットワークとか、物理的なタイアップ、出来れば周遊のルートをつくる。将来的には交通アクセスを考えて行くということになるのでしょうか、こういうものをつくつて行きたい。

もう一つは、神戸の特性から言つて、ウォーターフロントを含めて瀬戸内の活用、開発が必要になつて来ると思います。関西新空港が出来る、また明石海峡大橋が完成するというインパクトがあるわけです。海を観光資源にすることが大きな課題となつて来ます。具体的に申し上げますと、たとえば須磨から舞子にかけての海岸線を、リゾートパークとして、どう考へて行くかということがあります。

垂水海岸のマリノベーションにタワー状のホテルなどをつくる構想があります。また関西の関係ではCAT(シティ・エア・ターミナル)、つまりカーゴ・ターミナルを受け皿としてつくる、そこに色んな業種を貼り付けて二十四時間体制をとる。神戸は海に對して恵まれた地形ですから、都市の発展は海が担つていると言えると思います。

田崎真珠㈱

取締役社長 田崎 俊作  
神戸市中央区港島中町 6-3-2  
TEL (078) 302-3321

オールスタイル株式会社

取締役会長 川上 魁  
神戸市中央区港島中町 6 丁目 5-1  
TEL (078) 303-3311



キャンペーン「神戸の観光と魅力を探る」の  
企画は以上各社の提供によるものです。

7月20日より新造船あさぎり丸就航！（予定）  
10月にあさかぜ丸、12月にはあさしお丸続々就航予定。

# 潮風のドライブ 淡路島・四国へ リフレッシュ明石フェリー



総トン数 1,224トン  
全長 65M  
全幅 14M  
主機関 2000P.SX2  
航速能力 14.5ノット  
旅客定員 467名  
車両積載台数 トラック18台  
乗用車2台

## 明石与岩屋

海上25分/終夜運航  
京阪神より日帰りコースに最適

**MG** 明岩海峡フェリー株式会社

本社事務所 明石市中崎2丁目7番1号  
☎(078)911-2622代  
岩屋営業所 ☎(0799)72-3232



# 双胴高速クルーザー くいーんろっこう 中突堤より就航。

双胴高速クルーザー

## くいーんろっこう



全長 33.2M 速力 時速55K  
全巾 9.0M 定員 146名  
総トン数 217トン  
所有 淡路フェリーポート

**A** コース ~~~~~  
淡路島一周コース  
大人7800円 小人半額

●DXクルーザー くいーんろっこう  
によるサマーナイトクルージング  
8/11~8/20 19:00出航 90分間

**B** コース ~~~~~  
大阪湾周遊コース  
大人3900円 小人半額

**C** コース ~~~~~  
神戸湾内外周遊コース  
大人2500円 小人半額

### くいーんろっこう

**神戸港中突堤営業所**  
〒650 神戸市中央区波止場町5-2  
TEL.(078)333-6700・6710 FAX.(078)333-6711

## 経済ポケット ジャーナル



理事長に就任する高村勲氏（左）  
と新組合長の竹本成徳氏（右）

★灘神戸生協の首脳人事が決定。

灘神戸生協は新設の理事長職に高村勲組合長が就任し、後任の組合長に竹本成徳専務理事が昇格することを決定した。

今回の理事長職の新設は業務の複雑化の中で組合長に集中していた役割と権限を分担することによって、業務の効率化を図っていくことが目的。

新組合長の竹本氏は営業部門、管理部門、人事などを担当、実務面に精通している。役員経験も長く、寄せる期待は大きい。

★音と映像の新しいクリエイティブスペース誕生

株東亜特殊電機は新本社ビル（神戸ポートアイラン）内に音と映像の新しいクリエイティブスペース「XE BEC」（ジーベック）を誕生させた。

ジーベックとは17世紀の小型帆船の意味。人工島であるポートアイランドのイメージと合わせて名づけられた。

スペースが合体、△音・映像・人▽のトータルコミュニケーションを創造、発信していく。「おしゃれなイメージのあるファッショントータンの活性化に貢献できればうれしいですね。人が集まる新しい環境空間を提供していくたいと思っています」とは、廣田均社長。

あたらしい音に会える、人に会える、夢に会える。

「音の運動場」のコンセプトにふさわしい空間である

★エキゾチックな神戸発のお菓子作りを！  
㈱モロゾフの松宮隆男新社長の就任記者懇親会が去る6月20日、ポートアイランドに開設したばかりの



松宮隆男新社長



音と光と映像を自由にクリエイトするジーベックホール。

戸の風土の中にあるエキゾチックな雰囲気を取り入れたお菓子作りを大切にしていきたいですね。私たちががんばることによって神戸のイメージを少しでも高めていけるようになればうれしいですね」と語った。



音の運動場ですジーベック

多目的に使える最新設備のホール、エネルギー的なパワーが実感できるスタジオ、サウンド感性を磨くブース、くつろぎの自由空間カフェ』個性的な4つの



★KOBEオフィスレディ★

中嶋 美香さん

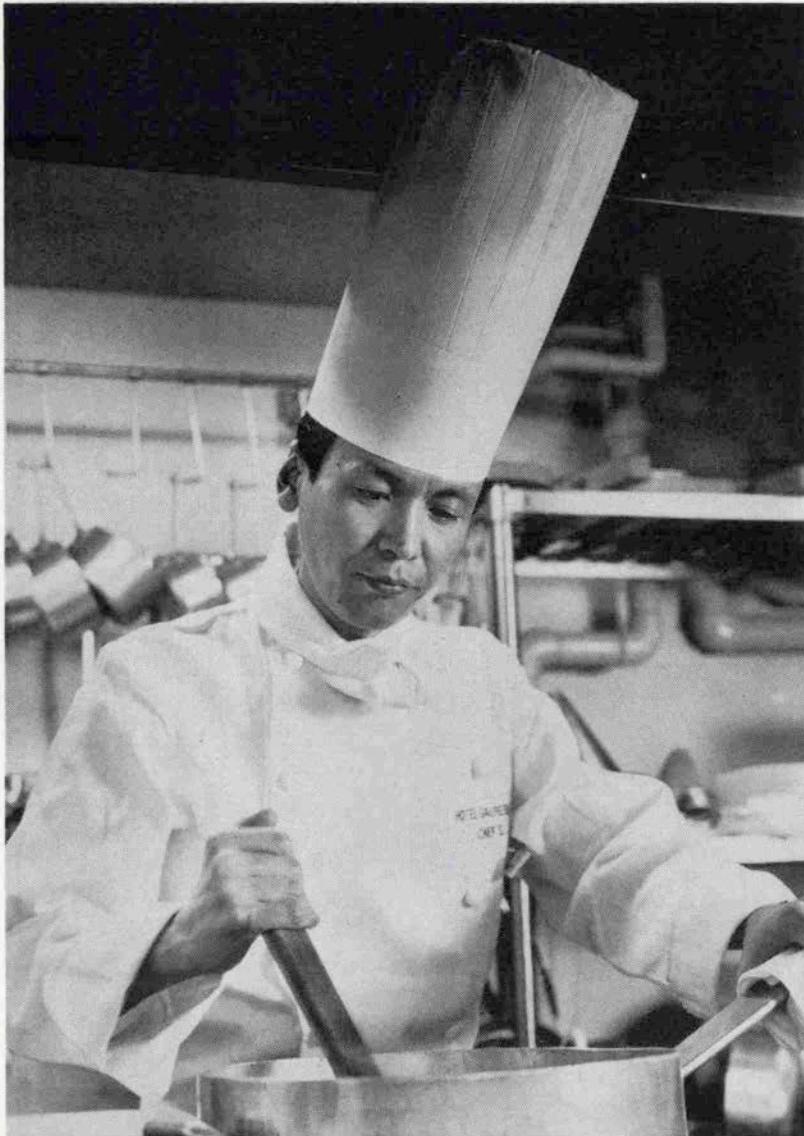
（第2回アーティア宣伝部宣伝課勤務）

(23)

ファミリアの宣伝を担当する彼女は、上品で知的な感じのワーキングガール。「撮影等でいろいろな人に会え、変化に富んでいてやりがいのある仕事です」と、笑顔で語ってくれた。

オフはアクティビティ…。「小さい頃から憧れてた」というダイビングのライセンスを取ったばかりで、今はそれに夢中だそうだ。オンもオフもお洒落に過ごす彼女である。

神戸市在住 獅子座のB型



CHEF A LA CARTE  
シェフ・ア・ラ・カルト  
**シェフ登場**

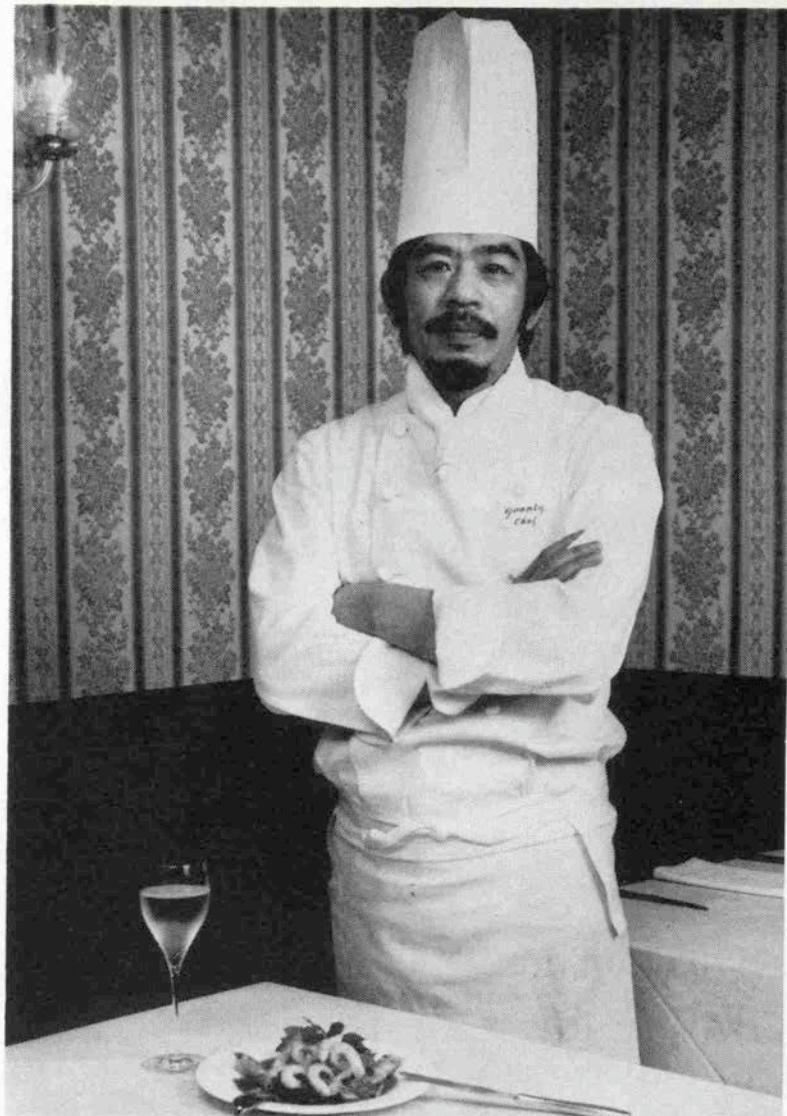
安芸

繁男

（ホテルゴーフルリツツ  
宴会洋食料理長）

九州・福岡、西鉄グランドホテルから、今年3月に  
オープンしたばかりの“ホテル・ゴーフルリツツ”的  
宴会洋食料理長として就任された。  
印象を御聞きすると「エキゾチックな街ですが、味  
にうるさいお客様が多いので、大変、気をつかいます  
ね。」と22年のキャリアの風貌を見せる。  
これからは、年令層に関係なく、見てくれよりも、  
より美味しい料理を追究してゆく“神戸っ子”





CHEF A LA CARTE  
シェフ・ア・ラ・カルト  
シェフ登場

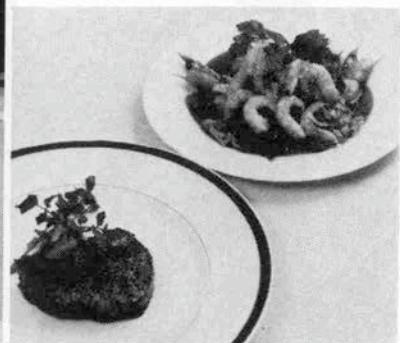
内山

成旭

（欧風レストラン  
グーニー北野シェフ）

グーニー北野の料理を味わうと、いつもオーナーシ  
エフ内山さん的心意を感じる。

神戸の口うるさい実質主義の食通は、素材がいきい  
きと新鮮で、味もセンスもよく、その上リーズナブル  
な値段で、さらに店の雰囲気も、サービスもよくない  
と気に入らない。そういうた神戸っ子気質をたくみに  
料理して、有無をいわせない。お客様の顔を見て勝負す  
る内山シェフの、体力と智力は大したものである。



CHEF A LA CARTE  
シェフ・ア・ラ・カルト

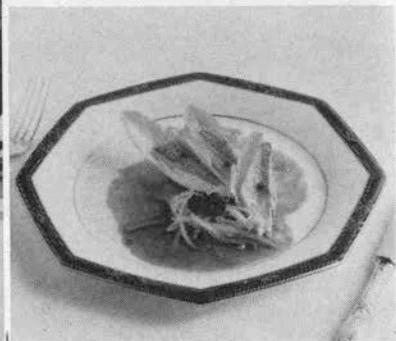
## シェフ登場

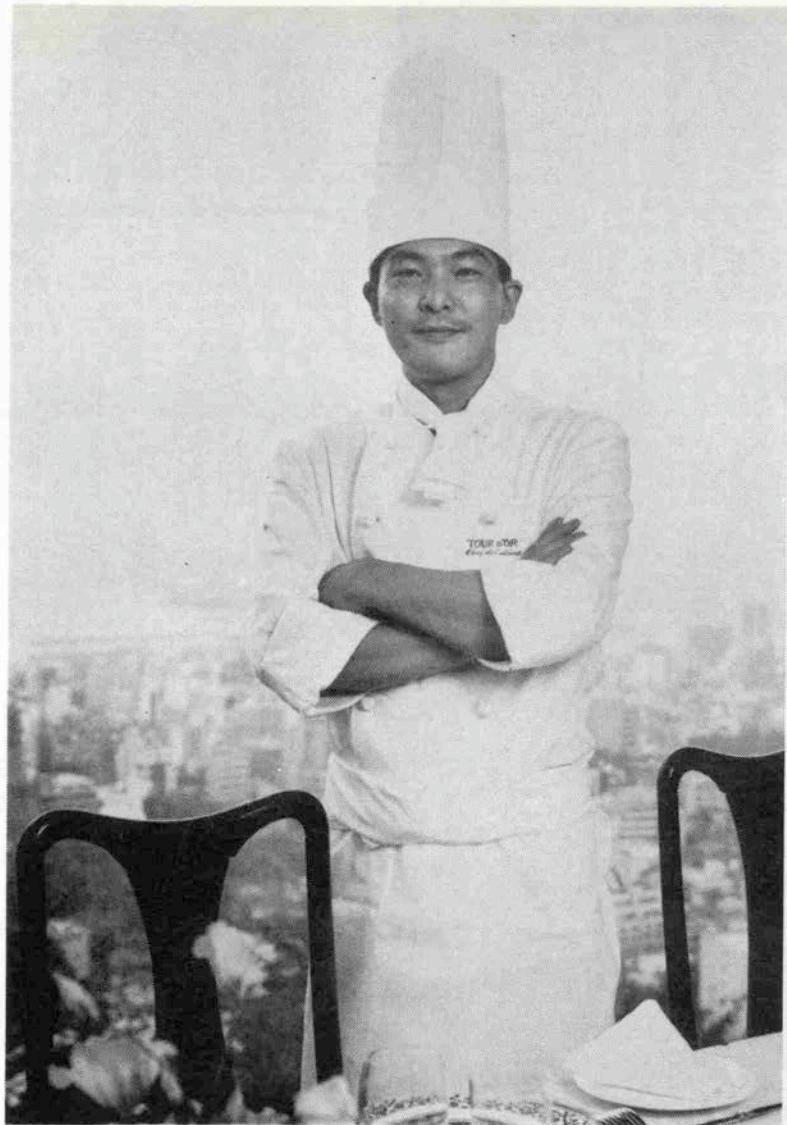
石川

辰雄

／にしむら・シェ・ラ・メール／

にしむら珈琲北野店のシェフとして日々、努力の人。  
“お客様を大切に”という川瀬オーナーの心をそのまま  
学び取って、誠実なメニューを用意しているのは、  
やはり、珈琲一筋のにしむらの伝統からか。京都育ち  
の繊細な季節感と都ホテルでのきびしい修業が、港町  
神戸で洗練されて、現在のこの人の味を作っている。  
「どんなにおいしい料理も、お客様の喜びでなければ  
意味がない」と、今日も工夫を凝らしている。





CHEF A LA CARTE

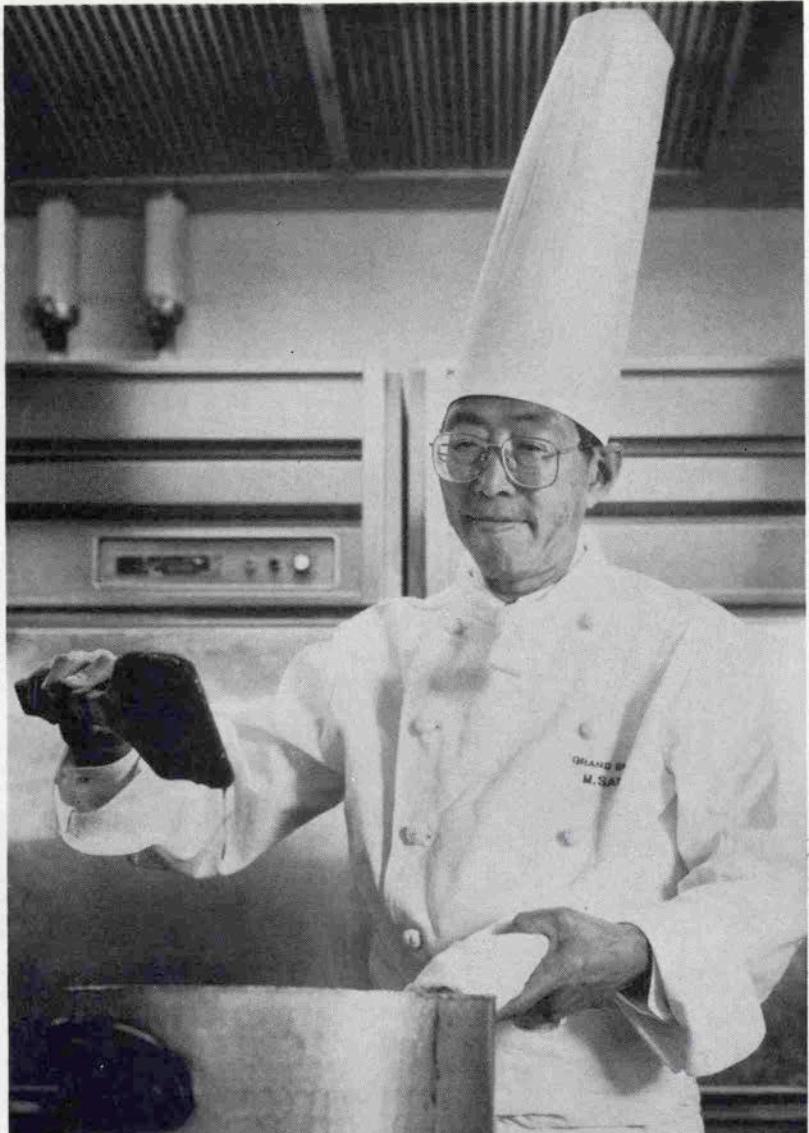
## シェフ登場

野村三喜夫／フランス料理レストラン／トワール・ドール シエフ／

19歳で渡欧、スイス・グロッケンホテル、パリ・ホテルクリヨンなどを経て帰国。調理技術の確かさは、現地でレストランシェフまで務めた実績が示す。

「料理は、素材と素材の結婚。どんなに技法でこまかしても素材同志が喧嘩してしまってはおいしいものはできないんですよ。」と、材料への執着心はかなりのもの。現在、食レベルの高い神戸で認められるレストランをめざして、スタッフと共に奮闘中の毎日である。





CHEF A LA CARTE  
シェフ・ア・ラ・カルト

## シェフ登場

佐野  
幹雄

（神戸ポートピアホテル  
総料理長）

料理のプロの技術を身に付け、料理業界への憧れから、この世界に飛び込まれて、三十五年、現在、料理長約十八名の総まとめ役、神戸ポートピアホテル総料理長を務められる。

御客様は目的を持つて、レストランに来るため、新しいものに進んで取り組んで行くそうだ。

センス・季節・素材特長の三つの個性を引き出してゆきたいと言う最後の言葉が、至極印象深かつた。





CHEF A LA CARTE  
シェフ・ア・ラ・カルト  
**シェフ登場**

藤川 滋郎

滋郎

新神戸オリエンタルホテル  
取締役総料理長

19才の時から、料理の世界に入られて、去年総料理長として新神戸オリエンタルホテルに移られて來た。神戸での印象は、「神戸のお客様は、舌が肥えられていて、こちらが色々と勉強をしないで難しいですね」とニコやかに言られた。やる気のある若いスタッフといっしょに、質の良い材料を使い、高級指向でハイ・グレードな、見た目も絢爛なセンスの良いメニュー作りに、意氣込みが見られた。



CHEF A LA CARTE  
シェフ・ア・ラ・カルト  
**シェフ登場**

森

道彦／ホテルオーラ神戸



「絵を見たり、音楽を聴いたり、あるいは美味しいといわれる店へ食べに行ったり…。料理人には、そりいつた遊び心と、ゆとりが大切ですね」と森調理部長。メリケンパークにオープンしたホテルオーラ神戸の味に関する全体を取りしきる。「今の若い人は、頭はいいけど身体で憶えませんね。」身体に沁みついた技術、五年間の基礎が終われば後は応用である。だからこそ、遊び心とゆとりが大切という森シェフは円熟の域

